

技術・家庭科

I 技術・家庭科の学習目標

- (1) 日常の家庭生活に関心を持ち、生活を見直す姿勢を養う。
- (2) 生活課題を解決するために実際の生活の場で実践できる基礎的な知識と技術を身につけさせる。
- (3) どうすればよいのか判断して意思決定し、よりよい生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。
- (4) 社会の変化に主体的に対応できる人間育成を目指して、生活の自立と生きる力を育む。

II 技術・家庭科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容		発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	技術分野【全員必修】 技術分野ガイダンス 1編 材料と加工の技術 1章 生活や社会を支える材料と加工の技術 2章 材料と加工の技術による問題解決 3章 社会の発展と材料と加工の技術 2編 生物育成の技術 1章 生活や社会を支える生物育成の技術 4編 情報の技術 1章 生活や社会を支える情報の技術	家庭分野【全員必修】 家庭分野のガイダンス 5編 私たちの成長と家族・地域 1章 家族・家庭と地域 1編 私たちの食生活 1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 2章 中学生に必要な栄養を満たす食事 3章 調理のための食品の選択と購入 4章 日常食の調理と地域の食文化	テーマ学習 【家庭分野】 ・日本の食文化と和食の調理 【技術分野】 プレゼンテーション能力 ・コンピュータリテラシーと情報モラル ・プレゼンテーションソフトの活用 資格試験 ・P検5級の受験
	2年	技術分野【全員必修】 3編 エネルギー変換の技術 1章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み 2章 エネルギー変換の技術による問題解決 3章 社会の発展とエネルギー変換の技術 2編 生物育成の技術 2章 生物育成の技術による問題解決 3章 社会の発展と生物育成の技術 4編 情報の技術 2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決	家庭分野【全員必修】 3編 私たちの衣生活 1章 衣服の選択と手入れ 2章 生活を豊かにするために 3章 持続可能な衣生活 4編 私たちの住生活 1章 住まいの役割と安全な住まい方 2章 持続可能な住生活	テーマ学習 【家庭分野】 ・日本と世界の伝統的衣類 ・日本の住居、世界の住居 【技術分野】 ・Scratchなどを用いたプログラミング学習
	3年	技術分野【全員必修】 情報の技術 1 情報の技術の原理・法則と仕組み 1-1 情報の技術とは何だろうか 1-2 情報のデジタル化 1-3 情報通信ネットワークの仕組み 1-4 安全に利用するための情報モラル①、②、③ 1-5 安全に利用するための情報セキュリティ①、②	家庭分野【全員必修】 5編 私たちの成長と家族・地域 2章 幼児の生活と家族 3章 これからの家族と地域 4編 私たちの消費生活と環境 1章 私たちの消費生活 2章 責任ある消費者になるために	テーマ学習 【家庭分野】 ・生活を豊かにする取り組み 【技術分野】 ・ネットワーク接続されたクライアントPCでデジタル作品を製作 ・デジタル作品製作についてのレポート作り ・PCによる表計算を利用したグラフ作成の発展的課題
高校段階	5年	家庭基礎【全員必修】 「A 人の一生と家族・家庭及び福祉」 1. 生涯の生活設計 2. 青年期の自立と家族・家庭 3. 子供の生活と保育 4. 高齢期の生活と福祉 5. 共生社会と福祉 「B 衣食住の生活の自立と設計」 1. 食生活と健康 2. 衣生活と健康 3. 住生活と住環境 「C 持続可能な消費生活・環境」 1. 生活における経済の計画 2. 消費行動と意思決定 3. 持続可能なライフスタイルと環境 「D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」		学校家庭クラブ活動 ・デイケアセンターとの交流 ・こども園との交流 ・ホームプロジェクト ・各種コンクールへの応募 調理実習

* 4年・6年は家庭科の設定科目なし

教科名 技術・家庭科
 科目名 技術・家庭
 対象 1学年全員

I 学習到達目標

- 1 実践的・体験的な学習を通して、生活の自立に必要な食生活、ものづくりに関する知識と技術を習得する。
- 2 情報通信について学び、情報に関するモラルや情報の基礎を身につける。
- 3 課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度が育つ。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 年間授業時数78時間
- 2 1クラス2展開
週2単位2時間続き。1時間ごとに技術分野と家庭分野を入れ替えて学習。

III 教科書・補助教材

教科書 「新編 新しい技術・家庭（技術分野）」東京書籍	「新編 新しい技術・家庭（家庭分野）」東京書籍
補助教材 技術分野ワークノート 材料と加工の技術 地域教材社	「家庭分野ワークノート 衣食住の生活 食生活」地域教材社
木材加工キット（技術分野）	

IV 学習計画

学期	月	学 習 内 容		授業時数	備考			
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み宿題							
	4	1学期 期 末 考 査	<技術分野> 技術分野のガイダンス 4編 情報の技術 1章 生活や社会を支える情報の技術 ・プレゼンテーションソフトの活用	<家庭分野> 家庭分野のガイダンス 5編 私たちの成長と家族・地域 1章 家族・家庭と地域	<技術分野> コンピュータ実習 木材加工キット製作 実験・実習 課題プリント	<家庭分野> ワークノート 課題プリント	15	二時間続きの授業を一時間ずつ展開して行う
	5		1編 材料と加工の技術 1章生活や社会を支える材料と加工の技術 1. 身の回りの材料と加工の技術 2. 材料の特性と加工方法 3. 丈夫な製品を作る工夫 4. 材料と加工の技術の問題解決の工夫		課題プリント 技術分野ワークノート		15	
	6						合計30	
	7							
夏休み宿題		製作する木工製品の設計	夏季休業中課題					
二 学 期	9	2学期 期 末 考 査	<技術分野> 2章 材料と加工の技術による問題解決 ・木工製品の設計・製作 1. 問題の発見と課題の設定 2. 解決策の構想(1)製作品の設計 3. 解決策の構想(2)製作計画 4. 作業手順を考えた製作 5. 問題解決の評価、改善・修正	<家庭分野> 1編 私たちの食生活 1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 2章 中学生に必要な栄養を満たす食事 3章 調理のための食品の選択と購入 4章 日常食の調理と地域の食文化	<技術分野> 木材加工キット製作 実験・実習 課題プリント 技術分野ワークノート	<家庭分野> ワークノート 課題プリント	15	
	10		3章 社会の発展と材料の加工の技術 1. 材料と加工の技術の最適化				15	
	11						合計30	
	12							
冬休み宿題			冬季休業中課題					
三 学 期	1	3学期 学 年 末 考 査	<技術分野> 4編 情報の技術 1章 生活や社会を支える情報の技術	<家庭分野> 1編 私たちの食生活 4章 日常食の調理と地域の食文化	<技術分野> コンピュータ実習 課題プリント	<家庭分野> ワークノート 課題プリント	9	
	2		2編 生物育成の技術 1章 生活や社会を支える生物育成の技術				9	
	3						合計18	
				計78				
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査 ②提出物 ③学習の様子							

教科名 技術・家庭科
 科目名 技術・家庭
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 実践的・体験的な学習を通して、生活の自立に必要な衣生活や住生活、ものづくりに関する知識と技術を習得する。
- 2 コンピュータに興味・関心をもち、基本操作がわかる。
- 3 課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度が育つ。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 年間授業時数78時間
- 2 1クラス2展開
週2単位2時間続き。1時間ごとに技術分野と家庭分野を入れ替えて学習。

III 教科書・補助教材

教科書	「新しい技術・家庭（技術分野）」東京書籍	家庭科703「技術・家庭（家庭分野）生活の土台 自立と共生」開隆堂
補助教材	技術分野ワークノート エネルギー変換の技術 地域教材社 ラジオキット・栽培キット（技術分野）	「技術・家庭総合ノート（家庭分野）」明治図書

IV 学習計画

学期	月	学 習 内 容		授業時数	備考		
		「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容				
一 学 期	春休み宿題						
	4	<技術分野> 3編 エネルギー変換の技術 1章 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術	<家庭分野> B衣食住の生活（食） 1 食事の役割と食習慣 ①食事の役割 ②健康良い食習慣	ラジオキット製作 (実験・実習) 課題プリント 技術分野ワークノート	<家庭分野> 学習ノート B衣食住の生活 1 食事の役割と食習慣 ①食事の役割 ②健康に良い食習慣	15	二時間 続きの 授業を 一時間 ずつ展 開して 行う
	5	2章 エネルギー変換の技術による問題解決 ※ラジオ製作			2 中学生に必要な栄養を満たす食事 ①中学生の発達と必要 ②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	15	
	6	2編 生物育成の技術 1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み 2章 生物育成の技術による問題解決 ※栽培キットによる栽培実習		栽培キット (実験・実習) 課題プリント	2 中学生に必要な栄養を満たす食事 ①中学生の発達と必要 ②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群 ③献立ステップ1 栄養バランスを目で見て判断	15	
	7	4編 情報の技術			調理実習	合計30	
夏休み宿題		ベビーリーフの栽培記録 (課題と実践)	食について考える (課題と実践)				
二 学 期	9	4編 情報の技術 3章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	B衣食住の生活（食） 3さまざまな食品とその選択 ①生鮮食品の選択と保存 ②加工食品の選択 ③食品の安全と情報	ラジオキット製作 (実験・実習) 課題プリント 技術分野ワークノート	学習ノート B衣食住の生活 3さまざまな食品とその選択 ①生鮮食品の選択と保存 ②加工食品に選択 ③食品の安全と情報	15	二時間 続きの 授業を 一時間 ずつ展 開して 行う
	10	2編 生物育成の技術 3章 社会の発展と生物育成の技術	4 日常食の調理 ①調理の計画 ②おいしさと調理 ③ますます好きになる肉の調理 ④こんなにおいしい魚の料理 ⑤好きになる野菜の調理	栽培キット (実験・実習) 課題プリント	4 日常食の調理 ①調理の計画 ②おいしさと調理 ③ますます好きになる肉の調理 ④こんなにおいしい魚の調理 ⑤好きになる野菜の調理	15	
	11	3編 エネルギー変換の技術 3章 社会の発展とエネルギー変換の技術			調理実習	合計30	
	12	3学期 期末 考 査					
冬休み宿題							
三 学 期	1	4編 情報の技術 3章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	B衣食住の生活（食） 5 地域の食文化 地域の食文化 日本各地の郷土料理	コンピュータ実習 学習ノート	B衣食住の生活 5 地域の食文化 地域の食文化 日本各地の郷土料理	9	二時間 続きの 授業を 一時間 ずつ展 開して 行う
	2	3学期 学年末 考 査	6 献立づくり		6 献立づくり	9	
	3	2編 生物育成の技術 3章 社会の発展と生物育成の技術	7 持続可能な食生活 持続可能な食生活をめざして		7 持続可能な食生活 持続可能な食生活をめざして	合計18	
		3編 エネルギー変換の技術 3章 社会の発展とエネルギー変換の技術			調理実習		
				計78			
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ① 定期考査、②提出物、③学習の様子						

教科名 技術・家庭科
 科目名 技術・家庭
 対象 3学年全員

I 学習到達目標

- 1 実践的・体験的な学習を通して、家族や家庭と子どもの成長についての理解を深める。
- 2 身近な消費生活に関する知識を習得する。
- 3 コンピュータを利用したものづくりを通して、コンピュータの活用を身につける。
- 4 課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度が育つ。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 年間授業時 35時間
- 2 1クラス2展開 技術・家庭科を隔週で学習する。

III 教科書・補助教材

教科書 「新しい技術・家庭（技術分野）」東京書籍	家庭科703「技術・家庭（家庭分野）生活の土台 自立と共生」開隆堂
補助教材 「中学用課題で学ぶ 技術分野「情報」テキスト」P検協会	「技術・家庭総合ノート（家庭分野）」明治図書
マグカップデザイン（技術分野）	

IV 学習計画

学期	月	学習内容		授業時数	備考		
		考査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容	
一学期	春休み宿題						
	4	1学期 期末 考査	<技術分野> 4編「情報の技術」 1章 情報の技術の原理・法則と仕組み 1-1 情報の技術とは何だろう 1, 2 情報の技術とは ・マグカップ図案製作に必要な作業内容の説明 ・マグカップ図案製作	<家庭分野> A家族・家庭生活 1. 自分の成長と家族・家庭生活 2. 幼児の生活と家族 3. 幼児とのかかわり	<技術分野> 学習プリント ノート コンピュータ実習 学習プリント ノート コンピュータ実習	<家庭分野> 学習ノート 課題プリント	7
	5						7
	6						1
	7						合計15
二学期	夏休み課題						
	9	2学期 期末 考査	1-2 情報のデジタル化 3 情報のデジタル化とデータ量 ・マグカップ図案製作に必要な作業内容の説明 ・マグカップ図案製作 1-3 情報通信ネットワークの仕組み 1, 2 情報通信ネットワーク	4. 家庭生活と地域のかかわり D身近な消費生活と環境 1. 家庭生活と消費 2. 購入・支払いと生活情報	学習プリント ノート コンピュータ実習 学習プリント ノート コンピュータ実習	学習ノート 課題プリント	7
	10						7
	11						1
	12						合計15
三学期	冬休み宿題						
	1	3学期 学年末 考査	4編「情報の技術」 1-3 情報通信ネットワークの仕組み 3 情報機器を識別する工夫 4 情報を伝える工夫 1-4 安全に利用するための情報モラル ①, ②, ③ 1-5 安全に利用するための情報セキュリティ①, ②	D身近な消費生活と環境 3. 消費者被害と消費者の自立 4. 持続可能な社会	学習プリント ノート コンピュータ実習	学習ノート 課題プリント	4
	2						4
	3						1
	合計9						
				39			
評価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。①定期考査 ②提出物 ③学習の様子						

一クラス二展開、技術と家庭を隔週で学習する。

教科名 家庭科
 科目名 家庭基礎
 対象 4学年全員

I 学習到達目標

- 1 家族や地域の生活課題を解決し、男女が協力して家庭生活を経営する力を身につけるようにする。
- 2 衣食住の生活を科学的に理解し、基礎的・基本的な知識と技術を身につけ、充実した生活を営むことができるようにする。
- 3 家族、消費生活について理解し、生涯の生活設計について主体的に考えることができるようにする。
- 4 自立して生きていく力を身につけると共に、支え合って生きることの重要性を理解し主体的に行動できるようにする。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 1クラスを2グループに分けて少人数授業を行う。
- 2 各クラスの2つのグループは、1時間ずつ入れ替わり、A,B両方の分野の内容を同時に履修する。

III 教科書・補助教材

教科書 「902 新Agenda家庭基礎」実教出版
 補助教材 「生活学Navi 資料+成分表+ICT 2026」「新Agenda家庭基礎 学習ノート」

IV 学習計画

学期	月	学習内容		授業時数	備考		
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容	
一学期	4 5 6 7	1学期 期末 考 査	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動				
			< A分野 > 7章 住生活 一人間らしく住む— 01 住まいの選択 02 ライフスタイルと住まい 03 さまざまな家族・さまざまな住まい 04 住まいの安全・安心 05 住環境の安全・安心 06 環境共生の今・昔 07 住まいづくり・まちづくりへの参加	< B分野 > 1章自分・家族—多様化した社会に生きる— 01 これからをどう生きるか 02 青年期の自立 03 社会の変化と家族 04 家族・人生・生き方と法律 05 多様な課題を抱える家族・家庭 06 持続可能な生活と仕事 07 多様な生き方を保証する社会へ	< A分野 > <input type="checkbox"/> 資料集 5 住生活 3 高齢者・共生 <input type="checkbox"/> 学習ノート 7章 住生活 3章 高齢者 4章 社会福祉	< B分野 > <input type="checkbox"/> 資料集 1 自分・家族 <input type="checkbox"/> 学習ノート 1章 自分・家族	A 14 B 14 合計28
			3章 高齢者 —高齢者と生きる— 01 高齢者を知る 02 高齢社会の現状と課題 03 高齢者の尊厳と自立の支援 04 高齢者を支える制度としくみ				
			4章 社会福祉 —支えあい共に生きる— 01 生活を支える福祉と社会保障制度 02 共生社会の実現に向けて				
夏休			ホームプロジェクトコンクール応募				
二学期	9 10 11 12	2学期 期末 考 査	5章 食生活 —楽しく安全に食べる— 01 食べることを通して 02 栄養と食品 03 栄養素のはたらきと食品の栄養 04 食品の選択 05 食品の取り扱い 06 食品の安全性 07 豊かな食生活の背景には 08 食事をつくる	6章 衣生活 —選んで着る— 01 衣生活を見直す 02 衣服の機能と着装 03 衣服の材料と成り立ち 04 衣服の管理 05 安心して衣服を着るために 06 いろいろな人が着る衣服 07 これからの衣服	<input type="checkbox"/> 資料集 7 食生活 食品成分表 <input type="checkbox"/> 学習ノート 5章 食生活	<input type="checkbox"/> 資料集 4 衣生活 <input type="checkbox"/> 学習ノート 6章 衣生活	A 15 B 15 合計30
			調理実習	作品製作			
冬休							
三学期	1 2 3	3学期 学年末 考 査	8章 消費・環境 —消費社会を生きる— 01 お金の管理とライフデザイン 02 暮らしと経済のかかわり 03 意思決定と契約 04 購入方法の多様化 05 消費者問題 06 消費者保護 07 持続可能な社会をめざして（1） 08 持続可能な社会をめざして（2） 09 消費者市民社会	2章 子ども —子どもと生きる— 01 子どもと出会う 02 子どもの心とからだの発達 03 子どもの生活 04 子どもと遊び 05 子どもの育つ環境と社会 06 子どもの権利と福祉 07 子どもと共に育つ	<input type="checkbox"/> 資料集 6 消費・経済と環境 <input type="checkbox"/> 学習ノート 8章 消費・環境	< B領域 > 2子ども <input type="checkbox"/> 学習ノート 2章子ども	A 10 B 10 合計20
				計78 (2単位)			
評 価	家庭基礎の学習内容を2領域に分け、展開して授業を行ったものに対し各々評価を出し、合算して5段階の評定を行う。 学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期1回、年間3回）、②提出物（ノート、課題プリント、作品）、③学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）						